

# The 59th Business Report



**LECIP**  
GROUP

## 第59期 報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

レシップホールディングス株式会社  
(旧 レシップ株式会社)

## ごあいさつ

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。また、このたびの東日本大震災により被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

ここに、当社第59期の事業概況について報告いたします。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役社長 杉本 真

## 当期の業績について

当期のわが国経済は、国内外における景気刺激策や新興国への輸出回復等により、一部に持ち直しの動きが見られたものの、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東日本を中心に多くの人的・物的被害をもたらすとともに、今後の経済活動に対しても大きな影響を与えることになり、先行き不透明な状況となっております。

このような経済環境の下、当社グループにおいては、

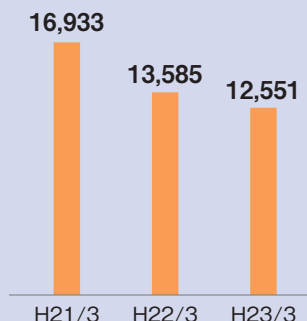
当期が中期経営計画「CE2012プラン」の初年度であることを受けて、重点課題である「新商品開拓への力強い熱意」、「5つの総ての市場での海外展開」、「コスト競争力の強化」の達成に向けた土台づくりに注力してまいりました。

しかし、各事業者様の設備投資の先送り傾向が続く中、主力のバス市場向け製品の売上が大きく落ち込んだこと、S&D(サイン&ディスプレイ)事業においてもLED電源の販売が伸び悩んだこと等が影響し、売上高

## 連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights

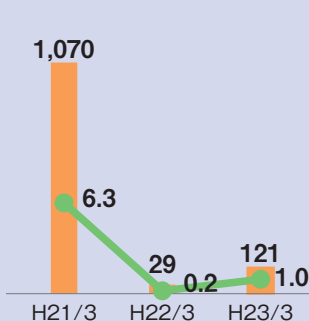
### 売上高

(単位：百万円)



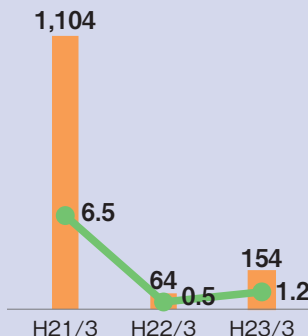
### 営業利益 / 営業利益率

(単位：百万円 / %)



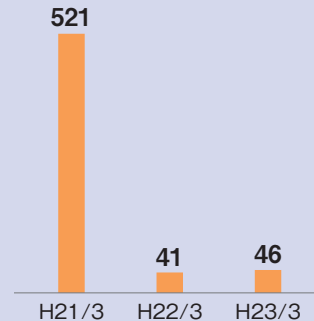
### 経常利益 / 経常利益率

(単位：百万円 / %)



### 当期純利益

(単位：百万円)



は前期比7.6%減の125億51百万円となりました。

一方、利益面に関しては、全社的な経費削減活動を強力に推進した結果、営業利益は1億21百万円(前期比310.2%増)、経常利益は1億54百万円(同141.7%増)、当期純利益は46百万円(同12.1%増)と増益を確保いたしました。

## 次期の見通しについて

当社グループは、各市場における環境変化をしっかり見極めながら、引き続き「CE2012プラン」の課題達成に向けた活動を推進してまいります。

輸送機器市場においては、乗客情報システム(PIS)の拡販に注力するとともに、海外展開として、北米向けの自動運賃収受システム(AFC)や鉄道車両用灯具などの受注活動等を一層強化してまいります。

加えて、S&D事業では、節電・省エネ意識の高まりからLED照明の導入が急増しつつある中、LED関連製品の受注拡大が見込まれること、また産業機器事業

においても、電源ビジネスの拡大を見込むことなどから増収増益の予想としております。

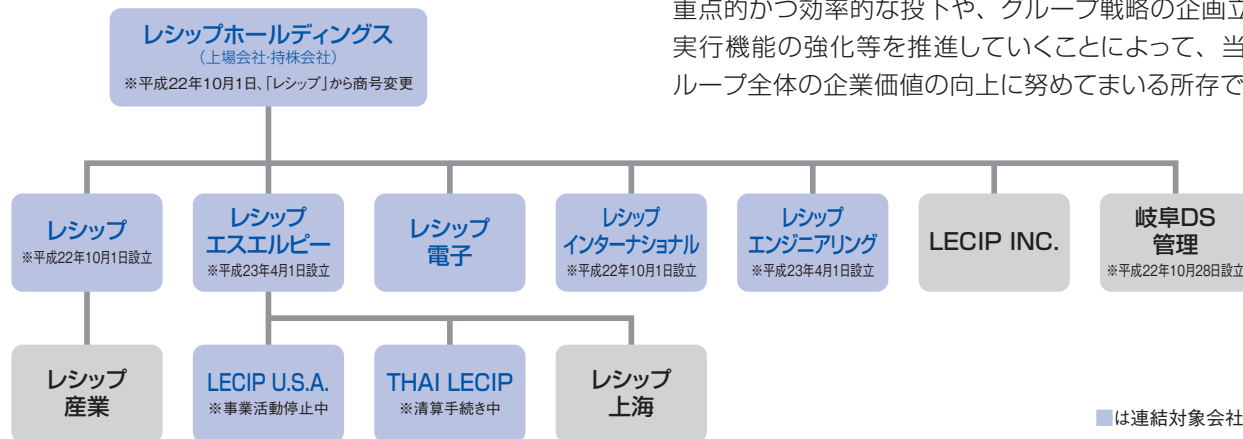
## 株主の皆様へ

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な課題の一つとして位置づけ、財務体質の強化にも意を用いながら継続的かつ安定的な利益還元に努めることを基本方針としております。当期末の配当金につきましては、今後の不透明な経済情勢と財務体質の健全性を確保する観点から、誠に遺憾であります。1株当たり12.5円とさせていただきます。

なお、当社は平成22年10月1日をもって、持株会社体制へ移行し、レシップホールディングス(株)として新たなスタートを切りました。また、平成23年4月1日には、レシップ(株)を会社分割し、主にS&D関連機器、産業用機器、車載用照明灯具の製造・販売を行うレシップエスエルピー(株)と、グループ製品のメンテナンス、導入サービスを行うレシップエンジニアリング(株)を設立しました。

持株会社体制の整備によって各事業会社の損益明確化と意思決定の迅速化を図り、これまで以上に経営資源の重点的かつ効率的な投下や、グループ戦略の企画立案・実行機能の強化等を推進していくことによって、当社グループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。

### 新体制 (平成23年4月1日現在)



## 輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道車両・トラック・乗用車に搭載される室内用・荷室用照明機器の製造・販売も行っています。

### ●主な製品 バス・鉄道用システム機器

ICカードシステム、磁気式カードシステム、運賃箱、整理券発行器、OBC-VISION(液晶表示器)、LED式行先表示器、デジタル運賃表示器など



OBC-VISION(液晶表示器)



LED式行先表示器



非接触ICカードリーダー

カードリーダー付運賃箱



降車信号装置(押しボタン)

### ●その他車載機器

バス・鉄道・トラック・乗用車の室内用・荷室用照明機器、ドライブレコーダー



保冷・冷凍車向け荷室用LED灯具



新幹線用照明



### ■当期の営業概況

各事業者様の設備投資の先送り傾向が続いたこと、また競争の激化等による製品単価の下落なども影響し、主力のバス市場製品の売上が大きく落ち込みました。

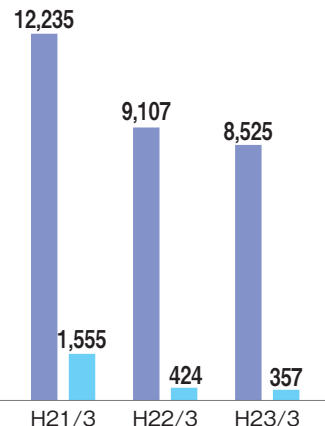
売上高構成比  
67.9%

売上高 **8,525**百万円  
(↓前期比6.4%DOWN)

営業損益 **357**百万円  
(↓前期比15.7%DOWN)

### ■売上高 営業損益

(単位：百万円)



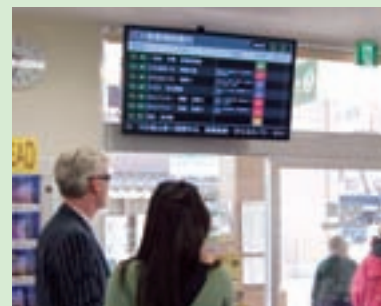
## トピックス Topics

### 外国人観光客向け多言語表示案内

各観光地では、外国人観光客が言語面での不便・障害を感じずに移動できるように言語バリエーションを促進しています。平成22年度は、バス路線における情報提供の多言語化のモデル整備が実施され、当社グループの表示器が、京都・高山などで採用されました。

#### モデル整備の例

- 行先案内表示、運賃表示器、車内案内放送の多言語化
- 電子看板などによる多言語情報の提供



## S&D(サイン&ディスプレイ)事業

長年のノウハウの蓄積により、表示照明に係わる各種電源機器(LED、蛍光灯、ネオン等を点灯させるための機器)の製造・販売を行っているほか、LED照明灯具や建築照明システム(CCL)等も扱っております。

### ● 主な製品

LED電源、屋外蛍光灯看板用電子安定器、CCL、ネオン変圧器(巻線式・電子式)



### ■ 当期の営業概況

LED電源の拡販を進めているものの、蛍光灯型LED灯具向けやLEDダウンライト向けなどへの販売が伸び悩んだことなどから減収となり、損失幅がやや拡大しました。

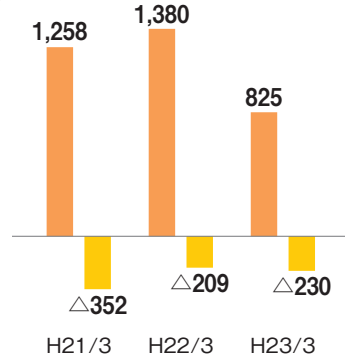
売上高 **825**百万円  
(↓前期比40.2%DOWN)

営業損益 **△230**百万円  
(前期は209百万円の損失)

売上高構成比  
**6.6%**

### ■ 売上高 ■ 営業損益

(単位：百万円)



## 産業機器事業

インバータ技術をベースに産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子(株)において、自動車用電装品、電子機器関連の各種プリント基板実装事業を行っています。

### ● 主な製品

バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置、EMS事業(プリント基板の実装)



### ■ 当期の営業概況

バッテリー式フォークリフト用充電器が増加したほか、プリント基板実装も自動車用電装品向けなどが好調に推移しました。

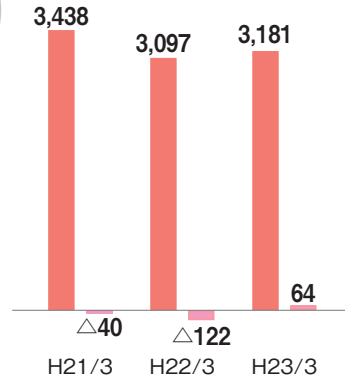
売上高 **3,181**百万円  
(↑前期比2.7%UP)

営業損益 **64**百万円  
(前期は122百万円の損失)

売上高構成比  
**25.3%**

### ■ 売上高 ■ 営業損益

(単位：百万円)



## その他事業

当期より売上高に計上しています。

不動産賃貸収入等

売上高 **19**百万円  
(—)

営業損益 **0.1**百万円  
(—)

売上高構成比  
**0.2%**

(単位：百万円) (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在	当連結会計年度末 平成23年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,987	6,918
固定資産	2,534	2,779
有形固定資産	1,650	1,576
無形固定資産	58	118
投資その他の資産	825	1,085
資産合計	10,521	9,698
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,324	3,485
固定負債	908	937
負債合計	5,232	4,422
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,328	5,279
資本金	735	735
資本剰余金	719	719
利益剰余金	3,887	3,838
自己株式	△14	△14
その他の包括利益累計額	△39	△3
純資産合計	5,289	5,275
負債純資産合計	10,521	9,698

■ 連結損益計算書

科 目	前連結会計年度 平成21年4月 1日から 平成22年3月31日まで	当連結会計年度 平成22年4月 1日から 平成23年3月31日まで
売上高	13,585	12,551
売上原価	10,894	10,081
売上総利益	2,691	2,469
販売費及び一般管理費	2,661	2,348
営業利益	29	121
営業外収益	81	63
営業外費用	46	30
経常利益	64	154
特別利益	46	93
特別損失	63	4
税金等調整前当期純利益	46	243
法人税、住民税及び事業税	30	204
過年度法人税	28	—
法人税等調整額	△54	△7
少数株主損益調整前当期純利益	—	46
当期純利益	41	46

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前連結会計年度 平成21年4月 1日から 平成22年3月31日まで	当連結会計年度 平成22年4月 1日から 平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△526	1,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー	434	△683
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△339	359
現金及び現金同等物の期首残高	863	524
現金及び現金同等物の期末残高	524	883

トピックス Topics

シンガポール向け路線バス機器を受注

レシップインターナショナル(株)は、シンガポールのSBS Transit社から、路線バス用運賃箱・発券器1,500台分、LED式行先表示器500台分を受注しました。受注総額は日本円換算で約3億3千万円、平成23年から数年で順次納入予定です。

シンガポールには、主な路線バス事業者が2社あり、約4,000台のバスが運行されています。(うちSBS Transit社が、約3,000台を保有)。当社グループは、運賃箱・発券器については、シンガポール国内においてシェア100%です。また、LED式行先表示器は、輝度を上げて視認性を向上させるなどの品質改善で高い評価を得て、今回初めて本格採用に至りました。



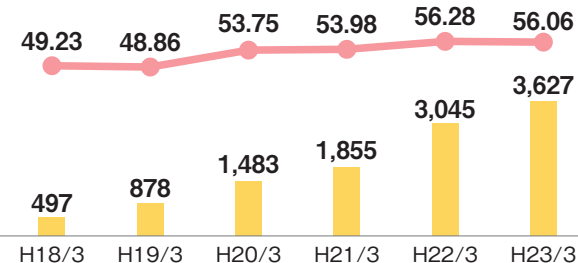
(平成23年3月31日現在)

## ● 株式の状況

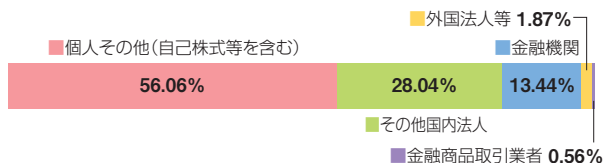
発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式総数	6,399,100株
株主数	3,627名

## ● 株主数推移

■ 株主数(名) ● 個人保有株式割合(%)



## ● 所有者別株式数分布



## ● 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
レシップ社員持株会	551,220	8.61
名古屋中小企業投資育成株式会社	468,240	7.31
重陽産業株式会社	430,690	6.73
宗教法人記念堂	422,280	6.59
株式会社十六銀行	280,000	4.37
杉本 眞	212,100	3.31
天野 賢敬	160,020	2.50
朝日火災海上保険株式会社	150,000	2.34
日本生命保険相互会社	130,000	2.03
株式会社三菱東京UFJ銀行	122,500	1.91

## ● 会社概要

商号	レシップホールディングス株式会社 (英文社名: LECIP HOLDINGS CORPORATION)
所在地	〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2 TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597
設立	昭和28年3月(旧レシップ株式会社) ※平成22年10月1日、旧レシップ株式会社は、会社分割による持株会社体制への移行に伴い、レシップホールディングス株式会社に商号を変更し、レシップ株式会社、レシップインターナショナル株式会社を新たに設立しました。
資本金	7億3,564万円
従業員	連結453名
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部

## ● 役員 (平成23年6月24日現在)

代表取締役社長	杉 本 眞
常務取締役	山 口 芳 典
取締役	長 野 晴 夫
取締役(非常勤)	河 村 雅 敏
取締役(非常勤)	杉 山 涼 子 (社外取締役)
常勤監査役	安 田 義 則 (社外監査役)
監査役	中 川 彰
監査役	内 木 一 博 (社外監査役)
監査役	中 島 宜 隆 (社外監査役)

## ● レシップグループ (平成23年4月1日現在)

レシップ株式会社*
レシップエスエルピー株式会社* (平成23年4月1日新設)
レシップ電子株式会社*
レシップインターナショナル株式会社*
レシップエンジニアリング株式会社* (平成23年4月1日新設)
LECIP INC. (米国)
レシップ上海電機有限公司 (中国)
レシップ産業株式会社
岐阜DS管理株式会社

(※は連結対象会社)

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711(通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.lecip.co.jp/hd">http://www.lecip.co.jp/hd</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ● 株主優待制度のお知らせ

対象株主	当社株式を100株(1単元)以上保有されている株主様を対象といたします。(基準日:毎年9月末日)
優待内容	当社本店所在地(岐阜県本巣市)の特産品である富有柿(進物用:1箱、2,000円相当)を贈呈いたします。 基準日現在で、当社株式を3年以上保有している長期保有株主様には、2,800円相当の富有柿(1箱)を贈呈いたします。
贈呈の時期	毎年11月下旬より順次発送を予定しております。



株主優待贈答品について  
「天下を治める」という意味の「富有」と名付けられ、柿の王様と称される甘柿の代表種です。  
橙紅色で丸みのある大果で、渋みの全く残らない完全甘柿です。岐阜県が発祥の地といわれています。

## 名証IRエキスポ2011 企業ブース出展のお知らせ

日時 2011年7月15日(金)～16日(土) 10時～17時  
場所 名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)  
名古屋市千種区吹上2丁目6-3 TEL 052-735-2111

お問い合わせ先

レシップホールディングス株式会社(旧レシップ株式会社)

管理本部 人事総務部(IR担当)

〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2

TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597 URL:<http://www.lecip.co.jp/hd>